広報誌 SUMMER

# こころの虹

か・け・は・し

OIKAWA HOSPITAL INFORMATION KOKORO no KAKEHASHI

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.oikawahp.or.jp Eﾒｰﾙ info@oikawahp.or.jp

NO.55 2025年07月 発行

編集・発行
医療法人 にゅうわ会
及川病院
〒810-0014
福岡市中央区平尾2丁目21-16
TEL 092-522-5411

広島県世羅町：花の駅せら 撮影者：緩和ケア病棟師長上馬

## 病院機能評価

副院長 乳腺外科部長
及川 将弘

去る2025年2月7日～8日に、日本医療評価機構の病院機能評価を受審いたしました。病院機能評価受審の目的は、

①国民が安全で安心な医療が受けられるよう、病院組織全体の運営管理および提供される医療について、基本的な活動（機能）が適切に実施されているかどうかを評価する。

②明らかになった課題に対し、病院が改善に取り組むことで、医療の質向上・職員の改善意欲の向上・他職種間の理解力の深まり・連携強化および教育効果が期待できる。

ということになります。全国で約25%の病院が認定を受けていますが、認定を受けた病院は医療の質向上について継続的な改善に取り組んでいる病院とみなすことができます。

当院にとっては5回目の受審になりますが、今回は大きな挑戦がありました。過去4回の受審では、事前に専門のコンサルタントに指導を仰いでおりましたが、今回はすべて自前のスタッフで準備しました。試行錯誤の部分もありましたが、過去に受審した経験のあるスタッフたちの経験値、そして、すぐにでも評価調査者（サーベイヤー）になれるのではないかと思われる江崎看護部長のリーダーシップがあり、何とか乗り切ることができました。

受審にて指摘された事項は当院にとっても大変有意義なものでありました。今回の受審に向けて結成したACPチーム、身体拘束最小化チーム、記録監査チームはそのまま常設の委員会やプロジェクトとして存続し、引き続き当院の診療の質向上のために活動を続けています。今後も患者さんのために、組織改革を続けていきたいと思います。

病院機能評価

## 病院機能評価を受審して

乳腺・一般病棟師長
和田　久美子

病棟では病棟概要（ラウンド）とケアプロセスを中心に準備を進めました。病棟概要では、事前に想定質問事項への回答を準備し、看護部長からの質問に答えながら主任とともに病棟ラウンドのシミュレーションを行いました。普段見慣れている病棟も患者さん目線で見ると、掲示物が整理されておらず自慢の中庭が見えにくくなっていることなどの気づきもありました。ケアプロセスでは多職種連携や他施設との医療連携が見える症例をアピールしたいと考え、当院のサテライトである六本松乳腺クリニックと連携した同時再建手術症例や、離島在住で地元の医療機関との連携を行った症例を選びました。日頃から提供している医療について、改めて振り返る機会となりましたし、評価していただけることで自信にも繋がりました。サーベイヤーの方に質問すると丁寧で的確なアドバイスを頂くことができ、問題解決にもつながりました。また、全職員で取り組んでいるがんに関わる啓発活動を評価していただき、自施設でも取り組みたいと「S」評価をいただきました。今回の受審は明確となった課題もあり、当院がより一層素晴らしい病院を目指して変化する良い機会になったと思います。

病院機能評価

## 病院機能評価受審での

## 組織横断的チームで活動して

緩和ケア病棟師長
上馬庭　昌恵

私は、組織横断的な「医療プロセスの見える化チーム」のサブリーダーとして記録監査を中心に活動しました。

メンバーは医師、診療情報管理士、看護師で構成し、記録監査の資料を基に当院の診療科に合った記録監査用紙の作成から始めました。第１回目の監査は９月に８名分を監査しました。監査の結果は関係部署へ配布し改善を求めました。監査することにより、記載漏れや不十分な内容など明確になったのはもちろんですが、治療の内容や病状説明、ケアや処置の様子が細かに記載されているカルテなどに気付くことができました。第２回目の監査は 11 月に６名分行いました。前回監査での指摘箇所などの改善がなされておりケアプロセスが見えるカルテとなっていました。「不備事項を把握して改善提案を行い、入院医療において必要な診療記録が記載される」という記録監査の目的が達成できたと感じています。今後は業務改善委員会に役割を引き継ぎ、医療プロセスが見える記録が記載されるよう記録監査を継続して行っていく予定です

# 母の日キャンペーン

今年度も乳がん検診啓発活動として 5 月に母の日キャンペーンを行いました。
「つなげよう　大切な人への　検診バトン」をテーマに、ご自身やご家族のためにも大切な身体を一緒に守ってほしいという思いを込めて 2 名以上で検診を受けられた方へプレゼントもご用意させていただきました。
期間中 18 名、合計 9 組の方が対象となりプレゼントをお渡しいたしました。皆さま喜ばれ笑顔になってくださり私共も大変嬉しくなりました。
「母の日」にちなんだイベントのため親子やご友人など様々な形で素敵なプレゼントになるのではないでしょうか。
今回のイベントを機会に乳がん検診をより身近に感じていただけたら幸いです。
今後も早期発見のためにより多くの方が乳がん検診に興味を持っていただけるように検診啓発活動を行っていきたいと考えております。

## ★七夕★

緩和ケア病棟では入院中でも季節を感じて頂きたいという思いから、季節に合わせた行事を行っています。
7月は七夕を行いました。
患者様やご家族に短冊に願い事を沢山書いて頂きました。
健康や恋、家族への願いを書いて頂き七夕飾りも華やいでいました。

これからも患者様・ご家族に喜んでいただけるイベントを開催していきたいと思います。

2024 年　手術実績　＜確かな実績で安心と信頼の治療を提供します＞
◆原発乳がん手術数 276 例（乳房温存手術数 134 例/48.6%）
◆センチネルリンパ節生検数 226 例　実施

≪特集≫

## 乳がんの性質について（サブタイプとは？）

ER（イーアール）、HER2（ハーツ―）は乳がん細胞にとって増殖や移動、生存するためにカギとなる２つの重要な信号です。これらがある（発現している）とがん細胞の生存に有利な信号が送られます。一方で ER、HER2 に対する治療は確立されているため、乳がん診断時に ER、HER2 が出ているか（陽性）・出ていないか（陰性）で乳がんの性質（サブタイプ）を分類し、効果のある治療法を選択します。診断確定後に ER（エストロゲンレセプター/女性ホルモン受容体）、HER2（ヒト上皮成長因子受容体）の発現（出ているか・出ていないか）について医師から説明がありますので、どの性質をもったしこりなのか、そのためどのような治療が適応となるか診察時の説明用紙や下図でご理解いただけますと幸いです。

乳腺外科医　小林美恵

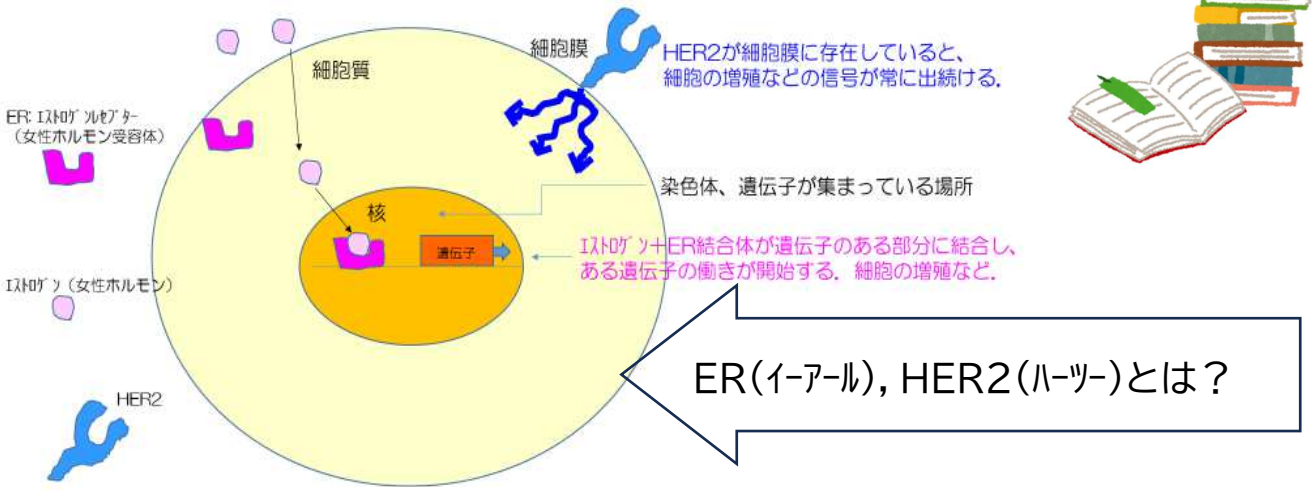
＜学会・認定＞

日本乳癌学会専門医・指導医

日本乳癌学会評議員

日本外科学会専門医

日本がんサポーティブケア学会




| HR / HER2 | ＋ | － |
|---|---|---|
| ＋ | HR陽性 HER2陽性<br>治療薬：内分泌療法（ホルモン剤）<br>抗HER2薬など | HR陰性 HER2陽性<br>治療薬：抗HER2薬など |
| － | HR陽性 HER2陰性<br>治療薬：内分泌療法（ホルモン剤）<br>CDK4/6阻害薬<br>m-TOR阻害薬など | HR陰性 HER2陰性<br>治療薬：化学療法<br>PARP阻害薬<br>免疫チェックポイント阻害薬 |

HR: ホルモンレセプター（ER+ PgR）

ホルモン剤は、女性ホルモンの働きを抑えるお薬です
抗HER2薬は、HER2からの信号を抑えるお薬です
CDK4/6阻害薬は、細胞の回転（複製・分裂）を抑えるお薬です
PARP阻害薬は、BRCA1/2遺伝子変異がある場合に適応があります
免疫チェックポイント阻害薬は、がん免疫微小環境を改善するお薬です


医療法人 にゅうわ会
及川病院
BREAST CARE HOSPITAL
〒810-0014　福岡市中央区平尾 2-21-16
Tel:092-522-5411　Fax:092-522-6244

及川病院
六本松乳腺クリニック
ROPPONMATSU BREAST CARE CLINIC
〒810-0044　福岡市中央区六本松 4-2-2
[六本松 421]2F クリニックゾーン
Tel:092-406-8172　Fax:092-406-8182


六本松乳腺クリニックの
ご予約はこちらから